

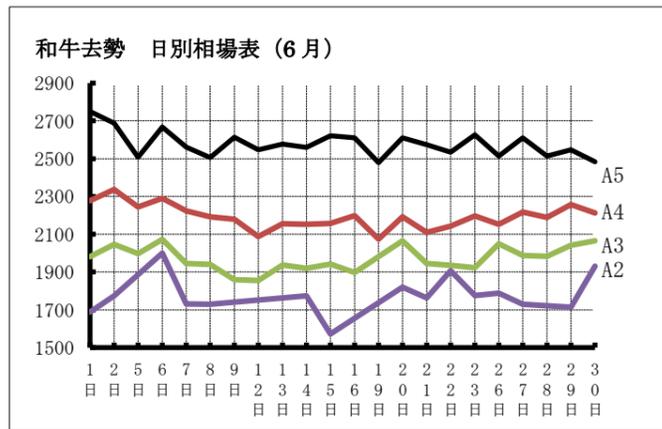
# 月刊しばうら

2023年 7月号

## 牛肉営業部

### <6月の相場動向>

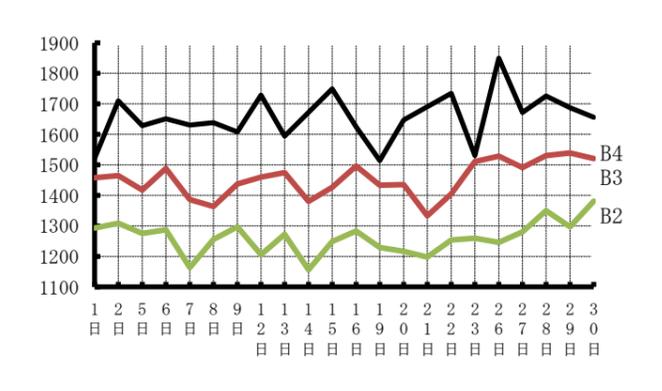
6月は1年のうちでも最も牛肉需要が低迷する月のひとつであることに加え、様々な食品の値上げ、エネルギーコストの上昇、円安などによる節約志向により、昨年よりもさらに荷動きが悪い状況となり、相場も低迷した。国内での消費意欲の低迷は牛肉需要にとっては厳しい状況であり、和牛・交雑・乳牛去勢ともに交雑B4を除いて前年実績を下回る結果となった。期待のインバウンド需要として訪日外国人の入国者数は確実に回復傾向となっているが、ニーズの多様化により牛肉需要の活性化には至っていない。



### 和牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,593円	-38円	98.6%	15円	100.6%
A4	2,197円	-200円	91.7%	-50円	97.8%
A3	1,964円	-220円	89.9%	-64円	96.8%
A2	1,784円	-153円	92.1%	-44円	97.6%

### 交雑去勢 日別相場表 (6月)



### 交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,655円	1円	100.1%	-30円	98.2%
B3	1,465円	-45円	97.0%	-42円	97.2%
B2	1,275円	-102円	92.6%	-80円	94.1%

### 乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	-	-	-	-	-
B2	997円	-71円	93.4%	-11円	98.9%

### <7月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、5月の輸入量は前年同月比1.4%増の4万6,409tで、うちチルドは21.5%減の1万6,104tと前年を大きく下回った。一方、フローゼンは前年同月比20.0%増の3万305tと大きく上回った。

農畜産業振興機構によると6月の牛肉輸入数量は、前年同月比23.0%減の4万4,400t（チルド14.2%減・冷凍12.2%減）、7月は11.9%減の4万5,800t（チルド7.2%減・冷凍14.6%減）で予測している。チルドは需要の低迷や現地価格の高騰により輸入量は減っており、フローゼンは国内輸入品在庫が多い中、為替の影響による減少もあり、かなり下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		5月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	6,265	8,618	72.7%
	米国	8,355	9,509	87.9%
	その他	1,484	2,381	62.3%
	合計	16,104	20,508	78.5%
フローゼン	豪州	12,506	9,705	128.9%
	米国	10,490	6,948	151.0%
	その他	7,309	8,604	84.9%
合計	30,305	25,261	120.0%	

出典：食肉速報 単位：t

### <7月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による7月の出荷予測頭数は、全体で前年比102.2%の9万7,100頭で、品種別にみると和牛は0.9%増の4万5,300頭、交雑種は2.7%増の2万1,900頭、乳用種は6.1%増の2万8,500頭と予測している。

東京食肉市場の7月のと畜頭数は7,880頭を予定している。

### <7月の牛枝肉相場見通し>

7月は牛肉需要が最も低迷する月のひとつである6月の翌月ということもあり需要の活性化に期待したいところである。7月後半には梅雨も明け、旧盆需要手当がはじまるため、例年であれば需要は回復傾向となるが、6月から持ち越す市中在庫も多いとみられ、出荷も前年より増える予測の中で相場としてはやや盛り上がり欠けると考えられる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,400~2,800	B4	1,500~1,700
A4	2,200~2,350	B3	1,350~1,450
A3	1,950~2,150	B2	1,200~1,300
A2	1,900~1,950		
乳牛去勢			
B3	1,000~1,050		
B2	900~950		

## 豚肉営業部

5月の全国と畜頭数は、前年同月比3.5%増の136万8,000頭となった。また、5月の豚肉通関数量は8万9,800t（前年同月比15.9%増）と前年を上回り前月比では18.1%の減少。内訳はチルドが3万5,080t（30.9%増）、フローゼンは5万4,720t（8.0%増）となった。

2022-2023年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
5	72,433	77,418	22,442	176,959	72,091	70,439
6	73,206	89,288	21,153	192,277	74,366	73,970
7	67,448	83,013	21,249	200,051	67,235	75,239
8	70,579	86,492	20,365	207,966	71,378	78,577
9	72,682	72,520	19,371	204,472	73,540	76,014
10	75,562	75,744	19,698	196,107	75,147	84,109
11	81,124	87,886	18,751	195,556	81,933	88,437
12	79,634	68,853	19,816	185,413	78,413	78,996
1	77,331	74,837	18,538	188,666	78,557	71,584
2	72,899	71,250	19,905	189,121	71,425	70,795
3	81,586	69,027	20,232	189,572	81,112	68,576
4	73,794	109,570	20,573	204,045	73,312	95,096
5	76,116	89,726	20,193	223,902	76,372	69,869
比	105%	116%	90%	127%	106%	99%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

5月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	16,042	112.8%	デンマーク	6,469	75.0%
カナダ	15,682	151.5%	スペイン	19,187	128.1%
メキシコ	3,336	150.5%	メキシコ	7,385	82.6%
			アメリカ	6,772	147.9%
			カナダ	3,233	105.6%
合計	35,080	130.9%		54,720	108.0%

単位：t

### <6月の豚取引の推移>

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	61,500	707	704	521
2日	57,600	762	756	762
5日	59,600	764	746	523
6日	67,900	789	773	812
7日	56,100	757	736	684
8日	61,600	724	705	719
9日	52,700	684	669	1,019
平均	59,571/日			720/日

6月に入り出荷頭数は減少傾向となり全国と畜頭数は6万頭を割り込む日も多くみられた。相場は高騰し一時的に800円近い高値での展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	64,300	682	670	655
13日	63,800	669	651	808
14日	61,200	655	643	587
15日	63,400	646	632	479
16日	59,100	656	645	785
19日	62,700	670	659	534
20日	65,700	663	651	737
21日	58,400	675	665	535
平均	62,325/日			640/日

梅雨入りしたことで行楽需要も一服感がみられた。末端の荷動きは堅調ではあったが高値相場が続く中、為替のマイナス影響はあったものの輸入チルドポークへのシフトがみられ始めた。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22日	62,700	677	675	529
23日	52,200	676	665	921
26日	64,400	687	685	631
27日	65,000	695	688	834
28日	59,100	715	712	480
29日	61,700	714	710	436
30日	61,800	716	710	705
平均	60,985/日			648/日

全国と畜頭数は6万頭を割り込む日もあり枝肉相場は再び700円を超えた。末端需要は悪くはないものの、実需以上に高騰する展開となった。

### <7月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による令和5年7月の肉豚出荷予測では129万4,000頭（前年比103.4%）と予測している。当市場の7月集荷予定せり頭数は1万5,000頭、1日あたりでは約750頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると7月分の豚肉輸入見込数量は、総量で8万800t（同97.3%）、内訳は冷蔵輸入量が3万2,000t（同103.7%）、冷凍輸入量は4万8,800t（同93.6%）と予測。

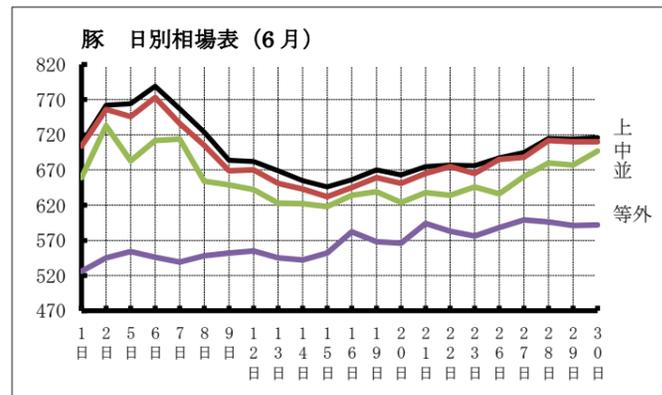
冷蔵品輸入量は国産品の価格上昇による輸入品の代替需要等から前年同月をやや上回ると予測する。

なお、3ヵ月平均では、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。

冷凍品輸入量は国内の輸入品在庫が多い中、前年同月のスペイン産の輸入量が多かったこと等から前年同月をかなりの程度下回ると予測する。なお3ヵ月平均では前年同期をやや下回ると予測する。

今年7月の気温は東日本を中心に平年より高くなる予想となっており猛暑による増体悪化や疾病などによって今後の出荷頭数への影響が懸念される。一方で輸入物についても引き続き為替の問題や北米での港湾ストなどの影響によって不透明感がみられる為、末端需要は引き続き国産中心の流れになりそうだ。例年、海の日の日三連休に向けて相場は上昇傾向にあるが梅雨明けまでは需要の増加も期待できず不安定な状況となりそうだ。

以上のことから当市場の上物平均価格は700円前後、中物平均価格680円前後の展開と予測する。



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127